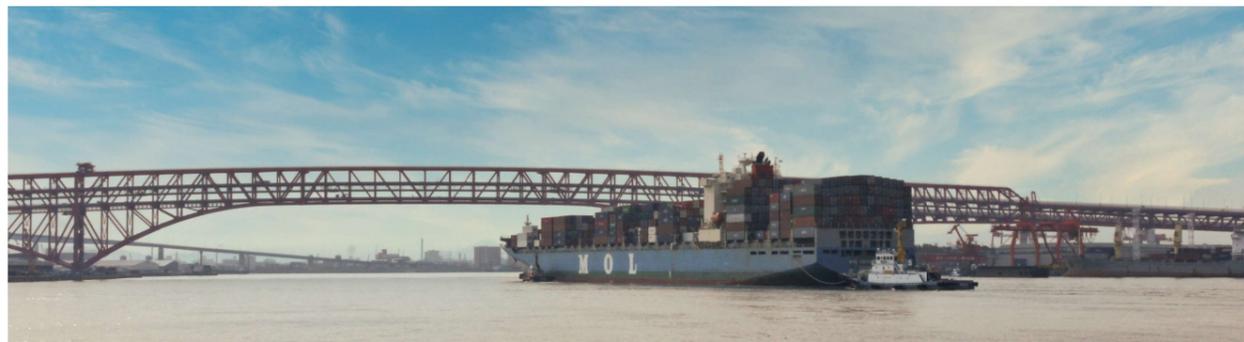


ナ侵攻以降、戦争や内紛がいつそう激しくなり世界的規模の不安が続いております。また、国内においても、先の参議院選挙で大躍進した最も危険な極右と言われている参政党は「日本人ファースト」という歪んだ概念を掲げ、「徴兵制は教育的役割がある」「核武装が最も安上がり」発言などは超越した「戦争する国」を目指し、国民の安心・安全で自由に暮らせる生活どころか生命を脅かす重大な局面に差し掛かっています。また、参議院選挙の敗北の責任を取る形で辞任した石破自民党総裁・首相の後任として誕生した高市自民党総裁だが、26年間連立を組んでいた公明党から「企業・団体献金の規制強化いわゆる政治と金」をめぐる問題が解消できないなどの理由で連立解消となりました。以降、国民民主党との連立模索をしたものの折り合いがつかず満を持して構えていた日本維新会と連立合意、首班指名で高市政権が誕生しました。このことにより憲法9条など「平和憲法」の改憲が急速に進む危険な状態になりました。その一歩として、アメリカ第一主義を掲げ、関税という経済制裁を武器に世界を巻き込んだトランプ大統領との首脳会談では、ノーベル平和賞への推薦や軍事費を拡大して米国製兵器の購入などの約束、「お世辞と贈り物の組み合わせ」でトランプ大統領の機嫌取りに終始しました。また、日中首脳会談では習近平国家主席に「中国は日本にとって重要な隣国であります。日中両国は地域と国際社会の平和と繁栄という重要な責任を有しています。」と言う一方で、「中国が台湾を攻撃した場合、日本は自衛隊で対応できる」という内政干渉ともとれる台湾有事発言を衆議院予算委員会で発言しました。



国家権力による全日建関西地区生コン支部（労働組合）つぶしは9年目を迎えました。大阪支部は不当逮捕が始まった2018年以降、関西生コン関連・労組連合会の共闘の立場で中心的に関ってきました。その連帯の輪は年々増え続け各都道府県に支援団体が設立され、今や生コン産業だけの問題ではなく労働組合、市民団体さらには、市民個人へと広がりました。それは、この弾圧の本質は生コン産業の労働組合つぶしのみではなく、民主主義崩壊を意味するからです。現に各地方で労働組合や市民が抗議をただけで逮捕・拘留が増えています。さらに、昨年の11月には全港湾にも労組弾圧がかけられました。私たちはこの弾圧事件を教訓に地域の労組・団体と今まで以上に連帯しなくてはなりません。

結びに、全港湾大阪支部は、組合員一人ひとりを大切に、そして互いに支え合える組織として、地域の仲間と共に今こそ「平和なくして労働運動なし！」を共有し、闘う労働組合として、団結の力で勝ち抜く事を再確認し、新しい年がよい年でありますよう心から祈念して、新年のごあいさつとさせていただきます。



謹んで新年のお慶びを申し上げます



HAPPY NEW YEAR

HAPPY NEW YEAR HAPPY NEW YEAR HAPPY NEW YEAR



和解成立！

大和運輸分会争議

2021年11月から始まった大和運輸分会の争議は、2023年から労働委員会へとたたかいの場を移し、2024年の8月・9月に労働委員会証人審問が双方におこなわれ、労働委員会からの救済命令を待つ状態でしたが、昨年4月に本件申立を棄却するという不当な結果を受けました。この命令には、許しがたい結果として、命令受領後、即刻中央労働委員会へ再審査申立をおこないました。さらに、団体交渉及び担当執行部による事務折衝を重ねることにより、中央労働委員会において和解が成立しました。

分会から感謝のごあいさつ

分会長 牛神 誠

あけましておめでとうございます。昨年末、大和分会が会社と争議行動になっていた案件に関しまして和解成立となりましたこと、ご報告いたします。

争議原因は、現場職員からパワハラ・モラハラで相談を受け、支部に相談をし、2021年11月にその職員は組合を全港湾に移籍することになりました。

移籍後、パワハラ・モラハラに対する謝罪を受け、労働条件

の変更を求め、団体交渉を繰り返しましたが、会社からは不誠実な対応であったため、抗議行動をすることとなりました。

街宣行動やビラ配り等でしたが、会社からの対応が変わることなく府労働委員会に救済申し立てをしました。たくさんの方たちにご協力をいただきましたが、府労委でもいい決定が

得られず、会社からの返答も変わることはありませんでしたの

で、納得がいかず中央労働委員会に申し立てをしました。

中労委で和解を提案がなされ、会社と支部との話し合いでようやく会社からもいい提案が出され、分会もその条件に納得し、2025年11月25日に和解をし、解決となりました。

4年以上もの歳月がかかりましたが、委員長をはじめ執行委員の方や大和分会担当の方、他分会の人たち大勢と一緒に闘ってくれたからこそ得られた好条件でした。長い間、ともに闘っていただき本当にありがとうございました。

